

かぶうずら、やまいもうなぎ

アカカブの会の記録2021 no.6 〈コロナ禍・特別篇〉

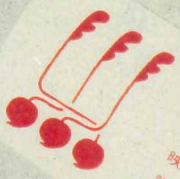
かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2021 no.6 〈コロナ禍・特別篇〉
発行日：2022年5月15日

お問い合わせ：生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集：せたがやアカカブの会世話人（松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな）
主催・発行：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
http://www.setagaya-ldc.net/
企画制作：remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

穴アーカイブ

穴アーカイブ: an-archive
記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカブの会 The setagaya akakabu circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ毎月で開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたはお問い合わせ先からご確認ください。一見さん大歓迎。本誌くかぶうずら、やまいもうなぎは、当会の断片的、公式活動記録。

キャプチャー画像

春休み動物園 | 昭和50年3月22日 | 上野動物園

9分56秒 | カラー

たくさんの人で賑わう動物園の入り口。人混みの中を走る一台の軽自動車。鳩も多い。園内ではライオンやヒョウ、アライグマなどが映る。ミニ牧場ではエサやりやボニーに乗る様子など。パンタロンを履いている子どもの姿も。提供者の兄弟が色違いのブルバッグを使っている。

穴アーカイブ: an-archive
せたがやアカカブの会 vol.30 (ハガキ方式)
開催方法: アカカブの会々員に郵送した返信用ハガキに回答・返送してもらいました
募集期間: 2022年3月8日-4月7日
回答数: 5名 ※2022年3月8日-4月7日に生活工房で集めたハガキも記載しています

参加者の記憶を媒介とした対面での「言葉の交流」を目的とする、せたがやアカカブの会。このたびのコロナ禍の状況を介して、会員の皆さまが各自のお住まいから非対面的に参加できる《ハガキ方式》での遠隔実施を試験的にはじめました。
今回、各自の環境でご覧いただいた映像は『春休み動物園』(no.75、昭和50年3月22日撮影)でした。さて、どのような声が集まってきたのでしょうか。じっくりお楽しみください。

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

